

海外版望海楼：米中は、アジアにおける正当な利益を相互に尊重すべきである
沈丁立

2011 年 11 月 28 日 0730 ソース：人民網（人民日報海外版）

11 月中旬、中国国家主席胡錦濤は、ハワイにおいて米国大統領と会談した際に、「中国は、アジア地区における米国の正当な利益を尊重する。米国がアジアにおいて建設的な力を発揮することを歓迎する。また米国がアジア地区における中国の正当な利益を尊重することを希望する。米中相互の利益を円滑に処理することは、アジア地区の平和と相互信頼、協力を共に促進する」と述べた。

過去数十年間、アジア地区は全体的に安定し、地区全体の経済は発展した。この地区の安定と発展が得られた所以は、各成員国の協力があったからである。各種の問題点は存在したが、主流となったのは各国間の交流と協力であった。

中国の改革開放は、国際協力とアジア地区の安定に寄与し、中国の発展は、アジア地区の安定と世界の発展に貢献した。中国は、成長しつつある大国として、アジア各国の正当な利益を尊重し、他国の主権と安全と発展を尊重している。これは世界中の誰も目にも明らかなことである。

中国は、米国のアジア地区における正当な利益を尊重している。その核心は、米国のアメリカ大陸以外の領土を尊重すること、及び米国のアジア地区で行う自由貿易を尊重することである。米国は、両洋の東西兩岸に面した世界の大国であり、米国のアジアにおける存在は 1 世紀以上の長きにわたっている。米国のアジア地区における経営は、複雑な歴史があるが、米国は現代のアジアの繁栄と安定に公共財を提供したことは客観的事実である。このことが、中国が米国との協力を尊重し、米中ともに勝利することを願う主な理由である。

中国は、アジアの大国である。米国と同様、アジア地区に自己の正当な利益を有し、同様に正当な利益が尊重されることを希望する。正当な国家利益には、国家主権と経済発展が含まれる。中国の領土保全と公平な貿易を行う権利は、剥奪することができない。米国を含む各国は、この権利を尊重しなければならない。米国を含む各国は、中国の国家統一を阻止してはならず、中国の経済発展を妨害してはならない。

残念なことに、理想と現実には大きな差がある。米国指導者は、APEC の非公式会議後の記者会見において、他国に国際規則の遵守を求めた。その際、人々

は、米国が諸々の問題で遵守すべき国際規則を自ら遵守していないことに気がついた。それは、米国が自ら制定した規則であり、特にアジア地区に制定した規則である。

米国は、中国の国家主権と領土保全に関し、長年にわたって「連合国憲章」に違反してきた。最近 10 年間、イラク問題に関する米国のやり方は「人類の戦争に関する基本法則」に違反してきた。米国政府は、過去半世紀中、何度も米ドルレートに干渉した。これは、米国が信奉する市場経済原則とは矛盾する。米国は、建国以来 235 年になる。米国は、規則の制定と遵守について十分な知識を持たねばならない。米国には、このように現代においても上述の問題が存在する。

積極的かつ強靱な米中関係は、相互尊重と相互信頼、互惠互利、同舟共済の関係でなければならない。米中は、双方が受け入れた国際規則を共に遵守し、アジアの安全と繁栄に有利な国際制度を共同して建設し維持しなければならない。広大なアジアと太平洋地区は、米中など多くの国家の同時発展を受け入れることができる。米中が各自の正当な利益を維持すると同時に、相手の立場でものを考えれば、両国は、長続きする信頼関係を確立することが可能であり、そうなればアジアは風穏やかな、うららかさを増し活気が満つるであろう。

（作者は、復旦大学米国研究センター主任）

（編集責任者：杜博）

注：同舟共済：同じ立場に置かれた者同士が互いに助け合うこと。